

令和6年度 足柄高等学校第2回学校運営協議会 会議概要

令和6年11月18日（月）
足柄高等学校 会議室

〈授業見学（5校時 13:35～14:05）〉

- ・Wティーチャーや小集団学習を中心に見学。

〈協議〉

（1）学校の教育活動全般に関する協議

◎「令和6年度学校評価報告書について」

- ・教務

視点1 教育課程・学習指導

<達成状況>

- ・到達度テストについて、春に行ったものを夏に再実施し、全体的に平均点が上昇していた。
- ・スタディサプリなどの足柄高校全体のログイン率や視聴率は高い傾向にある。組織的な取り組みの結果が出ているのではないか。
- ・授業参観週間に向けた各教科での授業研究を行った。今年度の授業参観週間には47名が参加した。他教科の参観も多く、教科間の垣根を超えた取り組みができています。

<課題>

- ・スタディサプリは年度後半でログイン率が減少傾向になってしまうことが多いため、落ちないように声掛け等といった教員の働きかけが必要である。

【質疑・意見交換（○：委員 ●：学校）】

- ログイン率等の数字はどのような基準で出ているものか。ログイン率向上のために何をしているのか。
- 数字はリクルート社が出しているもの。ログイン率上昇に向けて、今年度から1，2年生に向けて英語の課題配信を行っている。金曜日に動画の配信を行い、次週の木曜日にテストを行うことで、学習習慣の定着に繋がる。
- スタディサプリ導入年はいつか。足柄高校の生徒と話す機会があり、スタディサプリでの課題配信が学習の助けになっているという声を聞いた。
- 2023年度から本格的に導入された。スタディサプリでの学習を推進するチームを立ち上げ、働きかけを行っている。スタサプ部という有志団体も立ち上げた。

- ・情報管理

視点4 地域等との協働

<達成状況>

- ・オープンスクールや学校説明会は生徒主体となるように意識し、中学生に親しみやすい説明会を作り上げた。

- ・学校紹介動画について、同窓会の協力で南足柄市のPR動画を作成している会社をお願いし、作成をした。HPに掲載するとともに説明会での上映等で活用している。

<課題>

- ・スタディサプリのPR等、教員の説明の時間が長くなってしまったことが課題である。より生徒中心の説明会になるように検討している。
- ・説明会の参加人数について、夏のオープンスクールと第1回学校説明会は例年通りであったのに対し、第2回は前年より少なくなっていた。
- ・説明会の個別相談会場の場所を変更した結果、相談件数は多かったため、足柄高校に対する関心はあると感じられた。より親しみやすい説明会を作っていくことが課題である。

【質疑・意見交換（○：委員 ●：学校）】

○ICTの環境整備について、各端末は個人持ちなのか。

●経済的な理由等がある場合には貸し出しているが、基本的に個人持ちとなっている。

●Wi-Fiに繋がらない場合や端末の忘れ物等のトラブルはあるが、基本的に問題なく使用できている。

・管理運営

視点4 地域等との協働

<達成状況>

- ・PTA広報誌を近隣自治会に回覧していただいた。学校を理解してもらうことを目的とした地域への広報活動を行うことができた。

<課題>

- ・避難所開設訓練について、帰宅困難生徒に重きをおいて実施、下怒田自治会の方にも参加していただいた。学校としては帰宅が難しい生徒に対応する訓練を行う必要があると考えているため、来年から帰宅困難生徒対応実施訓練などに名称を変えて実施することも検討している。

【質疑・意見交換（○：委員 ●：学校）】

○広報誌を見た地域の方から、何か実際に声が届いているのか。

○地域の人から自治会役員に対して、広報誌に対する声は特にない。

○6月に行った美化デーでは、足高生たちはあいさつもしっかりしていた。

○地域の方とのコミュニケーションは活発ではないが、美化デーの開始時間を学校と合わせる等の工夫を行い、これから学校と地域との交流する機会を設けていきたい。

・進路

視点3 進路指導・支援

<達成状況>

- ・生徒進路実現のためにガイダンスを実施した。
- ・キャリアナビ活用を行い、企業の方の話を聞いて、各自が自分の設定した課題に向けた探究活動を行っている。1月に発表会を予定している。

<課題>

- ・一般受験する生徒を増やしたいと考えているが、実際は年内入試を希望する生徒が増えている。

- ・今回共通テストを受験する生徒の中に指定校推薦を受ける生徒もあり、共通テストを受ける理由を聞いたところ、「学力を落とすたくないから」とのことであった。
- ・年内に基礎学力テスト等を実施する大学もあり、選抜方式も多様化してきたため、対応できるように体制を整えていきたい。
- ・特別募集生徒への対応について、進路実現のためのサポートはしているが、思うようにいかないこともある。生徒一人ひとりに適切なサポートができるよう、体制を見直していきたい。

・生徒会

視点2 生徒指導・支援

<達成状況>

- ・40年ぶりに体育祭を開催した。運営する生徒も教員も悩みながらの開催となった。生徒からは「またやりたい」という声を聞くことができたため、来年以降も行事として定着できるように取り組んでいきたい。
- ・体育が苦手な生徒も楽しんでいる様子や、最後にゴールする生徒に他の生徒が伴走している様子も見られ、行事ならではの光景を見ることができた。
- ・文化祭は、昨年からコロナ前と同様に実施している。昨年よりも僅かに来校者は増えた。

<課題>

- ・部活動の加入率が年々減少傾向にある。説明会や部活動体験等は実施しているものの、なかなか数値が上がらない。部活動を通して学校生活の充実を図り、外部から見ても魅力の1つにしていきたいと考えている。
- ・学校としてできることは最低限行っていく姿勢を継続する。
- ・委員会活動やボランティア活動をやりたい生徒もいることから、ボランティア情報の発信等を通して関心がある生徒に対して支援していきたい。

【質疑・意見交換（○：委員 ●：学校）】

- 部活動の地域移行や、部活動の数を減らすということは検討していないのか。
- 教員の働き方改革等を天秤にかけると、苦しいところはあるが、減らすことは考えていない。
- 子どもの活動を守りながら大人は見守る環境はつくりたい。
- 中学校も加入率が下がっている。
- 生徒が部活動ではなく、学校以外のクラブチームに参加するというような、別の団体等に所属しているということはあるのか。
- 中学校や高校等と合同で部活動をやっていくという話は出ているのか。
- 学校以外で活動している生徒人数の調査を年度当初に行ったが、現状ではない。
- 他校と合同で活動している運動部もあり。活動場所や計画については教員同士でやり取りをしている。
- 生徒自身でやりたいことを探すという点に重きをおくのはどうだろうか。
- 学校での自治活動、クラブ運営等を生徒主体で行い、教員は管理顧問という体制をとっている学校もある。

・生徒支援

視点2 生徒指導・支援

<達成状況>

- ・教育相談関係では、サポートドックを5月と9月に実施済みである。いじめアンケートについては年3回行う予定。第1回はサポートドックと合わせて行った。
- ・交通安全について、11月21日（木）にスケアードストレイトを実施予定。視覚的に見てもらうことで交通安全について学ぶ機会を設ける。また、事後アンケートでヘルメットの使用状況についても調査する予定。
- ・南足柄市シルバー人材センターの方々に交通指導の業務委託を行っている。現段階でのトラブルや交通事故等なく、次年度も継続していきたい。

<課題>

- ・教育相談コーディネータの講習を受けた教員が少なく、特定の個人に業務が集中してしまうこともあった。そのため、相談担当を各学年に設けて、バランスをとっていく必要がある。

【質疑・意見交換（○：委員 ●：学校）】

- 交通安全について、11月から自転車の乗り方についても罰則強化となったが、学校からなにか働きかけをしているか。
- イヤホンをしてながら自転車に乗っている生徒を見かけたことがある。
- 罰則強化について、学校側で承知はしているが生徒に伝えられていないのが現状である。
- 県から全体への周知の依頼がくるのではないかと考えており、終業式等の機会をとらえて生徒に周知したい。
- ヘルメット着用努力義務について、学校側で何かしていることはあるのか。
- ヘルメットのサンプルを業者に持ってきてもらい、生徒に対してこのようなヘルメットがあるという説明を行った。スケアードストレイト後のアンケートを通して働きかけを再検討したい。

◎「令和6年度の足柄高校（中間報告）」（校長）

学校経営について

- ・インクルーシブな学校づくりの中で、授業が核になるのではないかと考えた。評価の観点が生徒に伝わるような授業づくりを行っていきたい。

教科外活動について

- ・体育祭は年度当初から競技の練習時間を設置し、よいスタートをきることができた。
- ・1年間の前半は行事が詰まっているが、後半は落ち着くため、メリハリのある学校生活を送ってほしいと考えている。
- ・説明会について、第2回の来校者減少も踏まえ、中学校教員への調査等を行い、日程を見直したい。

令和7年度教育課程の一部改訂について

- ・朝読書の時間を次年度以降は、朝学習（仮称）とする。読書にこだわらず、生徒個人が必要に応じて柔軟に学習を行う時間とする。

総合的な探究の時間の取組について

- ・教員が探究活動というものをどのように理解し、生徒が何をどのように自分のスキルにしていくかが重要である。

- ・無理せずベネッセ等の業者や、外部からの協力を得て、教員自身も学びながら探究活動を進めていく。

今年度の授業改善に向けた推進について

- ・「共に学び共に育つ体育授業の研究」を通して、体育科教員が今まで行ってきたスタイルに加えて、生徒に楽しみを得てもらいながら活動をする授業づくりについて学ぶ機会となった。

【質疑・意見交換（○：委員）】

- 朝読書について、生徒が自分で選択して朝の時間を活用するとよいと考えている。
- 制服の見直しについて、生徒の意見等も取り入れてもらえたらと思う。
- 廊下に進路関係の手作りの資料が掲示されているのを見て、生徒に早いうちから意識させるきっかけになると感じた。こういったものを作成することも生徒にとって有意義なものであると思う。

(2) ご見学いただいた授業に関する協議

- 1年の授業を見学し、生徒が参加しやすい空気づくりが印象的だった。
- テキストとスライドの連携がなされており、生徒が自身の端末を使うというアナウンスもあったので、生徒が手を動かせる時間が設けられていると感じた。
- 体育の授業について、雨の日対策を考えていかなければならないと感じた。
- ベーシック英語が行われていた教室は、生徒が集中できる環境づくりがされていた。
- 一般教室でも生徒の集中力を削がないための配慮がされているとよい。
- 各教室が整理整頓されており、集中できる環境づくりがされていた。
- その授業のテーマが冒頭に明記されていて、何を学ぶのか生徒に伝わる展開になっていた。
- 1人1台端末の活用について、教員の中で、卒業するまでにどのようなITスキルを生徒に身に付けさせたいかという共通認識があるとより活用しやすくなるのではないかと考えている。
- 英語の授業で、生徒は生の英語に触れる機会が少ないため、教員がネイティブに近い発音を積極的にしていくのがよいのではないかと考えている。
- 教員が生徒の名前をしっかり覚えているのが印象的だった。信頼関係を築く第一歩であり、質問しやすい環境づくりになっていると思う。
- 授業がアットホームな雰囲気で行われていた。
- 多くの教員がプロジェクターを使用していたが、電子黒板を使用するとより準備時間等の削減になるのではないだろうか。
- 電子黒板については、来年度から県による導入が進んでいく計画になっている。
- 単元や授業のねらいを明示し、生徒による振り返りを授業内に入れ込むようにしている。
- Wティーチャーの仕組みを活用し、生徒がどこに躓いているか把握しながら寄り添った指導をしていきたい。

〈その他〉

- ・年度末に第3回予定 候補日：3月21日（金）